

SAMPLE

JCGR 日本コーポレートガバナンス研究所

2022年 第20回
JCGRコーポレートガバナンス調査

回答企業のガバナンス

2022年12月1日
一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所

SAMPLE

業績目標として重視する財務指標

➤ 売上高と損益指標が全体の6割を占めており、株主価値を最大化する観点からは適切とは言えない。

【1】貴社が業績目標として最も重視している財務指標はどれですか。重視している指標を、次のa~oの中から3つまで選んで記号で答え下さい。(同じ指標がない場合はもっとも近いものを選んでください)

【集計結果】

- 損益指標 (c. 営業利益, d. 経常利益, e. 当期利益, l. 売上高利益率) による回答が、全体の4割超を占める。
- 資本生産性指標 (j. ROE, k. ROE, l. ROIC) については、回答の4分の1弱に止まる。
- 株価値指標 (g. EPS, m. TSR, n. 株価) を挙げた回答は5%にも達しなかった。

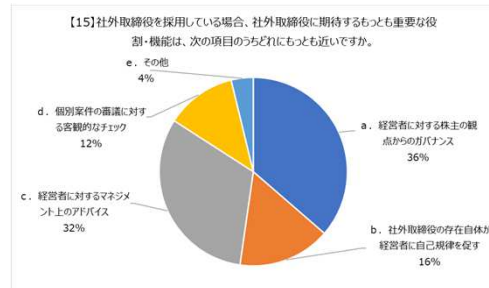


SAMPLE

社外取締役役に期待する役割・機能

➤ 明確に監督機能を期待している企業は相対的に少数で、モニタリング・ボードの考え方が浸透しているとは言い難い。

【15】社外取締役を採用している場合、社外取締役役に期待するもっとも重要な役割・機能は、次の項目のうちどれにもっとも近いですか。(単一回答)



【集計結果】

- 社外取締役に積極的な監督機能 (a. 株主の観点からのガバナンス) を期待している企業は、回答全体の4割にも満たない。
- c. マネジメント上のアドバイスや、d. 個別案件の審議といった、業務執行に関わる役割・機能を挙げた企業が、上記の監督機能よりも多い。

SAMPLE

取締役会で取り上げる経営問題

➤ モニタリング・ボードとしての監督機能が高まっている。事業ポートフォリオやM&Aを取り上げる企業は相対的に少ない。

【37】取締役会は、毎期少なくとも1回は、次の経営問題を議題にしていますか。

【集計結果】

- いずれの経営問題も、前年より多くの企業が取り上げるようになっており、モニタリング・ボードとしての取締役会の機能が高まっている。
- 事業ポートフォリオやM&Aを議題とする企業は相対的に少ない。事業環境によることも考えられるが、年に1回も議論しない問題ないのについては検討する余地がある。

